令和５年度（２０２３年度）　学習の手引き（シラバス）

長野県岡谷工業高等学校

教科	工　業	科目	工業情報数理	単位数	３	学年	１	科	情報技術科

１、科目の目標

工業の見方・考え方を働かせ，実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して，工業の各分野における情報技術の進展への対応や事象の数理処理に必要な資質・能力を育成することを目指す。

２、使用教科書・副教材

工業情報数理（実教出版）　、情報技術検定問題集２・３級Ｃ言語改訂版

３、学習の計画

		学習の内容	考査範囲	予定時数
一学期	４月 ５月 ６月	＜産業社会と情報技術＞ ＜情報技術の活用と問題の発見・解決＞ ＜数理処理＞ ・モデル化とシミュレーション	中間考査 期末考査	３０
二学期	７月 ８月 ９月 １０月 １１月	＜ハードウェア＞ ・データの表し方　・論理回路の基礎　・処理装置の構成と動作 ＜コンピュータネットワーク＞ ・コンピュータネットワークの概要　・通信技術 ＜プログラミングの基礎＞ ・プログラム言語　・流れ図とあるゴリズム ＜Ｃによるプログラミング＞ ・四則演算のプログラム　・選択処理　・繰返し処理　・配列	中間考査 期末考査	４２
三学期	１２月 １月 ２月 ３月	＜Ｃによるプログラミング＞ ・Ｃによる数理処理　・検定プログラムの作成 ＜コンピュータ制御＞ ・概要　・制御プログラミング　・組込み技術	学年末考査	３３

４．評価の方法　※観点別評価の内容は、別紙：「評価の観点の趣旨」J5 による。

知識・技術	・定期考査（基礎的な知識の習得を問う問題） ・ワークシート
思考・判断・表現	・定期考査 ・ワークシート ・行動観察（話し合いや発表場面での観察）
主体的に学習に取り組む態度	・行動観察（授業中の発言内容やワークシートや検定への取り組み姿勢） ・学習カード

５、学習にあたっての注意とアドバイス

情報技術科としての知識とプログラミング技術の基礎を身に付けられるように、自分で積極的にプログラムを書いてみることが大切です。また、検定にも挑戦するので合格を目指しましょう。